

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 4. 12	52名	41名	11名		
47. 4. 5	52名	38名	14名	11名	94.23%
在函クラブ	(3/30) 函館R.C. 85.48%	(3/28) 函館東R.C. 97.67%		函館五稜郭R.C. 100%	

次回例会日 4月19日  
プログラム「未定」

(広瀬会報委員)

函館北ロータリー・クラブ

1972~1973年度

役員  
会長 市川 芳夫  
副会長 駒井 幸一  
副々会長 青柳 喜一  
理事 船矢健喜智  
山田 英彦  
藤林 五郎  
高杉 重雄  
駒井 幸一  
幹事 森 秀樹  
副幹事 佐々木 権名  
会計 山崎 尚  
S.A.A 広瀬 芳男  
副S.A.A 北条澄雄

委員会構成

◎委員長 ○副委員長  
担当理事 駒井 幸一  
A クラブ奉仕委員会  
①出席委員会 ◎川筋 ○関本・佐藤(勝)  
②親睦活動委員会 ◎平野 ○成沢・野村・布目・沢村  
③雑誌委員会 ◎本間(隆) ○成田(鉄)  
④会員選考委員会 ◎角谷 ○森(正)・小林  
⑤会員増強委員会 ◎成田(勇) ○杉本・山本  
⑥プログラム委員会 ◎大井 ○外山・神原・渡辺  
⑦広報委員会 ◎高杉 ○飯田  
⑧会報委員会 ◎吉井 ○椎谷・西巻  
⑨職業分類委員会 ◎宮崎 ○山内(一)・酒井  
⑩情報委員会 ◎岩塚 ○横山・紫田  
B 社会奉仕委員会 ◎下郡山 ○遠藤・本間(利)・小笠原  
①インターアクト・  
ロータリーアクト委員会 ◎船矢 ○戸栗  
C 職業奉仕委員会 ◎藤林 ○新・山内(文)  
D 国際奉仕委員会 ◎山田 ○深瀬・熊谷  
E ロータリー財団委員会 ◎青柳・俣野

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所  
函館市若松町15-7拓銀ビル9階  
ロータリー合同事務所  
☎.(0138) 23-3870

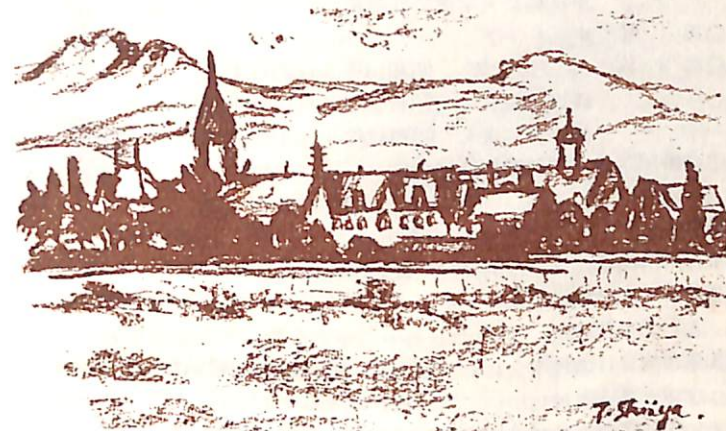


例会場 函館市若松町拓銀ビル7階  
五島軒駅前支店  
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1972. 4. 26

第396回例会

1971~1972 第41号



トラビスチヌの丘

椎谷龍彦会員

Good will begins with you 善意は先ずあなたから (ブライツホルツR.I. 会長指針)

本日のプログラム

「珍談・奇談」

俣野 純夫 会員

第395回例会記録

- ◎司会 市川 芳夫副会長 ◎斉唱 それでこそロータリー  
◎ゲスト 元木 省吾氏 (北海道史編集審議会委員)  
◎ビジター 函館R.C. 棟方 忠君 外3名  
函館東R.C. 田辺 和夫君 外5名  
五稜郭R.C. 佐藤 博君 外6名  
◎会長報告

先日アラスカ・フェアバンクスより来函されましたDr フード氏より感謝の手紙とバナーが届いておりますので回覧いたします。

◎新入会員紹介

推薦者 吉井 政嗣会員

- かわい きよひこ
- ◎会員名 川井 清彦君 生年月日 昭和15年3月10日生
- ◎自宅住所 亀田市桔梗町398番地 TEL 46-2327
- ◎勤務先 函館市若松町11番1号 TEL 23-1900
- 朝市塩干物市場 場主
- ◎学歴 昭和37年3月 東京農業大学農学部卒業
- ◎趣味 ボーリング
- ◎御家族 恭子 妻 昭和14年5月30日生
- 珠恵 長女 昭和40年8月14日生
- 稚佳恵 次女 昭和42年8月9日生
- ◎結婚記念日 昭和39年9月9日



◎幹事報告

- (1)札幌幌南R.C.より例会日変更の案内が来ております。
- (2)門司・小倉R.C.よりチャーターナイトの案内が来ております。くわしくは黒板に記入してあります。
- (3)先週例会日の理事会におきまして、5月21日の松前R.C.のインターシティゼネラルフォーラム参加について次の様に決まりました。
- イ)松前迄の自動車賃及び登録料はクラブ負担とする。
- ロ)懇親会費用は各自負担とする。
- (4)ロータリー財団より、この度連絡がありまして、俣野会員のこの度のポール・ハリス賞の功績によりまして、当クラブが400%にランクされたと云う知らせが参っております。俣野先生に感謝いたします。
- (5)本日例会終了後理事会を開きますので、理事の方はお残り下さい。

◎ニコニコボックス

- (1)成沢会員 新会社。成沢機器KK設立を記念して。
- (2)深瀬会員 医師会の内科会々長就任を記念して。

◎卓話 「函館今昔物語」 元木 省吾氏

只今御紹介頂きました元木でございます。

函館の話をしませ前に簡単に函館の起りを申し上げますと、函館は518年前に函館と云う名前が起ったと申してもよいと思います。

北海道の地名はほとんどがアイヌ語からとられております。

函館もむかしは字須岸と云う名でございました。それが西歴1454年の新羅の記録によりまして、8月28日に向いの大畑から河野政通と武田信玄ともう一人相原正谷の3人が函館に参りました。その中で、河野政通が函館に残りまして、自分の館を今の函館の処から昔の渡島支庁にかけて作りました。東西35間、南北28間の長方形の館を即ち陣屋を作

った訳です。これを北の方から見ますと長方形ですので箱の様な館と云う事で今の函館と云う名前が起ったわけです。これは正真正銘の日本語から来ています。

今日のTVで見ましたが、日ソ漁業交渉について色々報道されておりますが、この北洋漁業の先祖は明治41年に平塚常次郎氏と提清六氏が行った訳ですけれども、これは近代的な漁業交渉でございまして、昔は高田屋嘉兵衛がエトロフを開いたのが最初でございまして。高田屋嘉兵衛は淡路の生まれで今から146年前に59才で淡路に帰り亡くなっております。函館には28才から50才迄22年間函館に住んでおりました。

そうして函館を中心にして活躍された人でございます。彼がエトロフを開く時迄はクナシリ迄は開けておりました。当時は、エトロフ迄はともに行く事が困難でした。それで幕府が何とかしてソ連が南へどどん下って来ますので、エトロフをはっきり日本の領土にしなければならぬと云う事で、だれかエトロフに航海の道を開くものはないかと云った時に彼が敢然として20間ばかりクナシリの東北端の山に登って、汐の流れ等を研究して自信をもってエトロフに行った次第です。その時の舟は10トン位で水夫10人、案内のアイヌ3人とで行きました。そして色々現地の状況を調べて帰って来ました。それで寛政12年に大きな舟で近藤重蔵と共に行き、ついに漁場17ヶ所、アイヌの部落も7ヶ所25村も開き、色々してエトロフを開発した訳です。この様な大きな功績がございまして。昔の函館には函館の七不思議と云うものがございまして。馬の寒ざらし、夫婦の2・3年。商人が鬼風で客が世辞云う(逆である)年寄も新造さんも皆島田。二部のオイラン皆大根洗い。見番芸者みなころぶ。やあんさん、上れてな事云いつつ立小便で手ばなかわ。この様な非常におもしろいとえがありました。最後に昭和12年頃に函館ないないづくしと云うのが当時の新聞にのっておりますので読ませて頂きますので今は何が無いか一つ皆様でお考え下さい。

高級官吏に人物ない。市会議員は気力がない。集合時間は守られない。電灯電力値を下げない。地代家賃が安くない。道路の復興はどらない。ゆるしなく写真がとられない。名所五稜郭夜入れない。昼のサイレン聞えない。大きなホテルは一つもない。交通事故が絶え間ない。何年たっても火事へらない。東部に共同便所がない。雪に小便みつともない。ダンスホールはゆるされない。何んぼ書いても限りがない。これでは函館どうにもならない。以上が当時の欠点でございまして。大変まとまらない話でしたけれど時間が参りましたのでこれで失礼いたします。

◎ナイジェリア宮崎博士からの便り ナボボ 2月11日 宮崎 亮

12月末から1月にかけ沢山の方々からクリスマスカード、年賀状、お便りいただきました。御礼の手紙もださず失礼いたしております。ナボボのような僻地におりますと、日本からのお便りがことの外嬉しく感じ、励しを与えられいま再び活力に満たされ、感謝をいたしながら東奔西走いたしております。ナボボは乾期になり、また水飢饉におそわれました。わが家も飲水がなく、もらい水で頼りにしておりました病院も水が足りなく、困ってしまいました。私共のようなスボイルされた文明人にとりまして、水の足りないことは四苦八苦ですが、現地の人たちはどこに風が吹くといった顔で悠々と暮しております。冷蔵庫はこわれ、発電機も盗難にあい、私たちが原始生活の醜陋味をちよっぴり味わせていただいております。3月末には帰ることになりましたので総仕上げの



ため大忙しです。ナボボ病院の小児科病棟、産婦人科兼臨床検査室棟も無事完成、また52ヶ所の所Health Units も私たちの贈った医療器具、医薬品で活発に動いており開設された15ヶ所の乳幼児クリニックでは、B.C.G、D.D.T.、麻疹、ポリオの予防も行なわれております。前にJ.O.C.Sにお報せいたしました「人食いの村」といわれておそれられているアチャイカ村にも近代的センスをもった酋長様と御会いすることができ、母子センターを創設するようきまりました。また、ナース、医務員たちの再教育教室も好評の内に終了しました。先日は、遠い漁村「ニゴ」(前に報告しました)よりもっと遠いアタバ村から「是非きて下さい」とのことで、ことわりきれず出かけました。浅瀬にのり上げたり、ほそい小さな水路に迷いこんだり、文字通り薄氷をふむおもいで、やっと夕刻になって辿りつき夜になって星をあおぎ蒼白の月光がさざなみにゆれる中を湿地帯に浮ぶ原生林のあいまを縫って白い船体の赤十字を輝かせながら帰りました。やってもやっても際限のない大波のようによせる仕事に身も心も疲れ果て、心よりどころを求めにある日、ただ一人密林の中をドライブ、ライ村を訪れ、静かに祈りのときをもちました。またお目にかかるれ日をたのしみにしつつ。

(ガバナー月信 第11信より)

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 4. 19	53名	41名	12名		
47. 4. 12	52名	41名	11名	8名	96.15%
在函クラブ	(4/6) 函館R.C. 90.48%	(4/4)	(4/4)	(4/7)	函館東R.C. 96.59% 函館五稜郭R.C. 100%

5月3日の例会は休会

次回例会日 5月10日

プログラム「題 未定」

山崎 尚 会員

(広瀬会報委員)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所  
函館市若松町15-7拓銀ビル9階  
ロータリー合同事務所  
☎. (0138) 23-3870



例会場 函館市若松町拓銀ビル7階  
五島軒駅前支店  
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1972. 5. 10

第397回例会

1971~1972 第41号



深瀬鴻一郎 会員

Good will begins with you 善意は先ずあなたから (ブライツホルツR.I. 会長指針)

本日のプログラム

「財預金 (勤労者の財産づくり) 制度について」

山崎 尚 会員

第396回例会記録

- ◎司会 船矢健喜智会長
- ◎斉唱 それでこそロータリー
- ◎ビジター 函館R.C. 浜下 政三君 他4名  
函館東R.C. 佐々木啓三君  
函館五R.C. 松浦 百秋君 他1名
- ◎会長報告 当クラブが400%Rotary Foundation Club になりましたので、ステイッカーが来ております。
- ◎幹事報告  
1、札幌R.C. 5月3日の例会は祝日休会